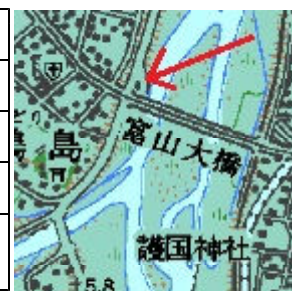


富山大橋

神通川で中流の様子を観察するときに、バスや車が駐車できる場所からさほど歩かずに川原の観察ができる場所がいくつかあります。ここで紹介する富山大橋の下はその中でも最も下流側に位置します。県道富山一高岡線を高岡側から進み、橋の手前で左折すると、すぐに河川敷へ降りられる場所があります。小型のマイクロバスなら、駐車も可能ですが、大型バスの駐車にはややせまいため、一度に複数のクラスが観察するにはややせまいかもしれません。この場所より下流では、川原がほとんどなく、川は下流の特徴を示します。また、右岸側には、駐車可能な広いスペースがありますが、川原がほとんどないので、規模の大きな小学校では、もう少し上流の左岸側で観察場所をさがしたほうがよいでしょう。神通川は比較的急な増水の恐れが少ない川ですが、川が大きいので、深みにはまらないよう、流速のちがいを調べるときは、つりざおとペットボトルを活用するなど、安全に留意して観察させたいものです。

観察対象	河川中流部～下流部
観察できる人数制限	なるべく、1クラスが望ましい
流速の実験の安全性	つりざおを使用すると比較的安全にできる
バス駐車スペース	あり
トイレ	近くはない。比較的近くにある公共施設にお願いすることになる。



川への入口



下流は川原がなくなる



川原の様子



川の屈曲も観察できる

